

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第2区分  
 【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2001-32910(P2001-32910A)

【公開日】平成13年2月6日(2001.2.6)

【出願番号】特願平11-204196

【国際特許分類】

|               |              |                  |
|---------------|--------------|------------------|
| <b>F 16 H</b> | <b>55/36</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>F 16 D</b> | <b>41/06</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>H 02 K</b> | <b>5/173</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>H 02 K</b> | <b>7/10</b>  | <b>(2006.01)</b> |

【F I】

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| F 16 H | 55/36 | Z |
| F 16 D | 41/06 | F |
| H 02 K | 5/173 | A |
| H 02 K | 7/10  | D |

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月13日(2006.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

又、上記ローラクラッチ用内輪16及び上記ローラクラッチ用外輪19と共に上記ローラクラッチ10を構成する複数個のローラ21は、上記ローラクラッチ用内輪16に、このローラクラッチ用内輪16に対する回転を不能として外嵌した合成樹脂製のクラッチ用保持器22に、転動及び円周方向に亘る若干の変位自在に支持している。そして、このクラッチ用保持器22に設けた柱部と上記各ローラ21との間に、板ばね、或はこのクラッチ用保持器22と一体の合成樹脂ばね等のばねを設けて、これら各ローラ21を、円周方向に関して同方向に弾性的に押圧している。又、図示の状態で、上記クラッチ用保持器22の軸方向両端面は、上記ローラクラッチ用外輪19を構成する両鍔部20a、20bの内側面と近接対向させて、このクラッチ用保持器22が軸方向に変位する事を阻止している。尚、この様なローラクラッチ10の基本的な構造及び作用は、従来から周知であるから、これ以上の詳しい図示並びに説明は省略する。